

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年2月10日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06)6458-0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06)6453-4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	5,815,106	5,990,491	7,771,818
経常利益(千円)	752,033	903,397	943,549
四半期(当期)純利益(千円)	499,436	435,552	571,502
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	466,606	395,523	533,809
純資産額(千円)	10,647,148	11,006,027	10,714,188
総資産額(千円)	14,610,182	15,144,770	14,514,650
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	49.13	42.85	56.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)			
自己資本比率(%)	71.2	71.0	72.1

回次	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	19.47	15.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第65期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進むにつれ緩やかに持ち直しつつあるものの、依然として残るデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念、欧州債務問題に起因する金融不安が深刻化するなど、依然、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、環境対応型塗料の新規顧客の獲得に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、さらなる業務の効率化や生産体制の見直しを行うなど、収益の改善に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、59億90百万円（前年同四半期比3.0%増加）となりました。また、収益面におきましては、営業利益は7億19百万円（前年同四半期比18.4%増加）、経常利益は9億3百万円（前年同四半期比20.1%増加）となり、四半期純利益は4億36百万円（前年同四半期比12.8%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 塗料事業

売上高は59億12百万円（前年同四半期比3.1%増加）、営業利益は6億93百万円（前年同四半期比18.9%増加）であります。

#### その他

売上高は78百万円（前年同四半期比0.9%減少）、営業利益は26百万円（前年同四半期比5.4%増加）であります。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は6億30百万円増加、負債は3億38百万円の増加、純資産は2億92百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金12億14百万円、受取手形及び売掛金3億12百万円、商品及び製品1億22百万円、減少の主なものは投資有価証券8億61百万円、長期預金80百万円であります。

負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金2億40百万円、未払金96百万円、減少の主なものは賞与引当金75百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金3億35百万円となっております。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億8百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,754,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 118,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

## 【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,754,000	-	1,754,000	14.61
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	170,000	-	170,000	1.41
計	-	1,924,000	-	1,924,000	16.03

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,374,410	4,588,779
受取手形及び売掛金	1 2,383,586	1 2,695,659
有価証券	300,700	350,701
商品及び製品	729,884	852,065
仕掛品	79,969	85,526
原材料及び貯蔵品	195,149	208,197
繰延税金資産	86,640	70,048
その他	46,611	41,737
貸倒引当金	39,940	30,652
流動資産合計	7,157,009	8,862,060
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,423,988	2,408,072
減価償却累計額	1,156,227	1,176,982
建物及び構築物(純額)	1,267,761	1,231,090
機械及び装置	345,120	348,044
減価償却累計額	292,783	302,812
機械及び装置(純額)	52,337	45,232
工具、器具及び備品	362,355	361,514
減価償却累計額	323,779	327,775
工具、器具及び備品(純額)	38,576	33,739
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	72,359	16,816
減価償却累計額	65,358	13,779
リース資産(純額)	7,001	3,037
有形固定資産合計	2,710,142	2,657,565
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	36,196	110,839
ソフトウェア仮勘定	57,746	-
施設利用権	7,711	7,020
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	194,554	159,564
無形固定資産合計	302,517	283,733
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,381,491	1,520,948
長期貸付金	3,258	195
長期預金	980,000	900,000
保険積立金	695,212	698,564
繰延税金資産	248,823	199,840
その他	39,946	24,372
貸倒引当金	3,748	2,507
投資その他の資産合計	4,344,982	3,341,412
固定資産合計	7,357,641	6,282,710
資産合計	14,514,650	15,144,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594,760	1,834,564
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	53,804	50,715
未払金	162,055	257,856
未払法人税等	151,745	216,442
未払消費税等	26,340	27,428
預り金	64,825	92,705
賞与引当金	108,391	33,467
その他	29	34,928
流動負債合計	2,213,949	2,600,105
固定負債		
長期借入金	501,000	462,000
長期預り保証金	246,992	248,785
リース債務	157,921	120,214
繰延税金負債	3,096	-
退職給付引当金	473,191	493,058
役員退職慰労引当金	67,074	80,505
修繕引当金	20,000	27,500
負ののれん	86,791	78,112
金利スワップ	30,449	28,464
固定負債合計	1,586,514	1,538,638
負債合計	3,800,463	4,138,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	8,646,793	8,981,580
自己株式	708,604	709,064
株主資本合計	10,438,515	10,772,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,054	2,939
繰延ヘッジ損益	18,123	16,942
その他の包括利益累計額合計	27,931	14,003
少数株主持分	247,742	247,189
純資産合計	10,714,188	11,006,027
負債純資産合計	14,514,650	15,144,770



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,815,106	5,990,491
売上原価	3,770,189	3,808,024
売上総利益	2,044,917	2,182,467
販売費及び一般管理費	1,437,434	1,463,400
営業利益	607,483	719,067
営業外収益		
受取利息	5,894	5,880
有価証券利息	16,576	15,750
受取配当金	8,837	8,304
受取賃貸料	40,311	41,103
塗装情報サービス会費	71,993	70,640
生命保険満期差益	3,637	16,979
負ののれん償却額	8,679	8,679
貸倒引当金戻入額	-	9,707
その他	12,881	21,107
営業外収益合計	168,808	198,149
営業外費用		
支払利息	15,002	13,588
支払補償費	365	-
持分法による投資損失	8,334	-
その他	557	231
営業外費用合計	24,258	13,819
経常利益	752,033	903,397
特別利益		
貸倒引当金戻入額	486	-
株式受贈益	15,847	-
退職給付制度改定益	125,634	-
特別利益合計	141,967	-
特別損失		
役員退職慰労金	38,461	-
たな卸資産廃棄損	5,834	-
災害による損失	-	9,859
特別損失合計	44,295	9,859
税金等調整前四半期純利益	849,705	893,538
法人税、住民税及び事業税	220,885	365,506
法人税等調整額	125,057	90,575
法人税等合計	345,942	456,081
少数株主損益調整前四半期純利益	503,763	437,457
少数株主利益	4,327	1,905
四半期純利益	499,436	435,552

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	503,763	437,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,948	43,115
繰延ヘッジ損益	19,966	1,181
為替換算調整勘定	5,757	-
その他の包括利益合計	37,157	41,934
四半期包括利益	466,606	395,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,582	393,064
少数株主に係る四半期包括利益	5,976	2,459

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。
(法人税率の変更等による影響) 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.45%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.78%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.41%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は29,056千円減少し、法人税等調整額は29,801千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形	- 千円	166,168千円

2 輸出貿易信用状取引

輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高があります。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
銀行手形買取残高	9,053千円	5,555千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	133,817千円	130,342千円
負ののれんの償却額	8,679千円	8,679千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,246	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金
平成22年11月10日 取締役会	普通株式	51,243	5	平成22年9月30日	平成22年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	51,229	5	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	5,736,157	78,949	5,815,106	-	5,815,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,736,157	78,949	5,815,106	-	5,815,106
セグメント利益	582,682	24,802	607,483	-	607,483

注) 1. その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	5,912,222	78,269	5,990,491	-	5,990,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,912,222	78,269	5,990,491	-	5,990,491
セグメント利益	692,924	26,143	719,067	-	719,067

注) 1. その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	49.13 円	42.85 円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	499,436	435,552
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	499,436	435,552
普通株式の期中平均株式数(株)	10,166,100	10,164,121

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第66期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）中間配当については、平成23年11月10日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,229千円

1株当たりの金額.....5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月9日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月7日

イサム塗料株式会社  
取締役会 御中

### 清稜監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 弘 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 松嶋 秀行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。